Housetec
Living with ideas

シャワールーム
取扱説明書

RJS・F
シリーズ

保証書在中

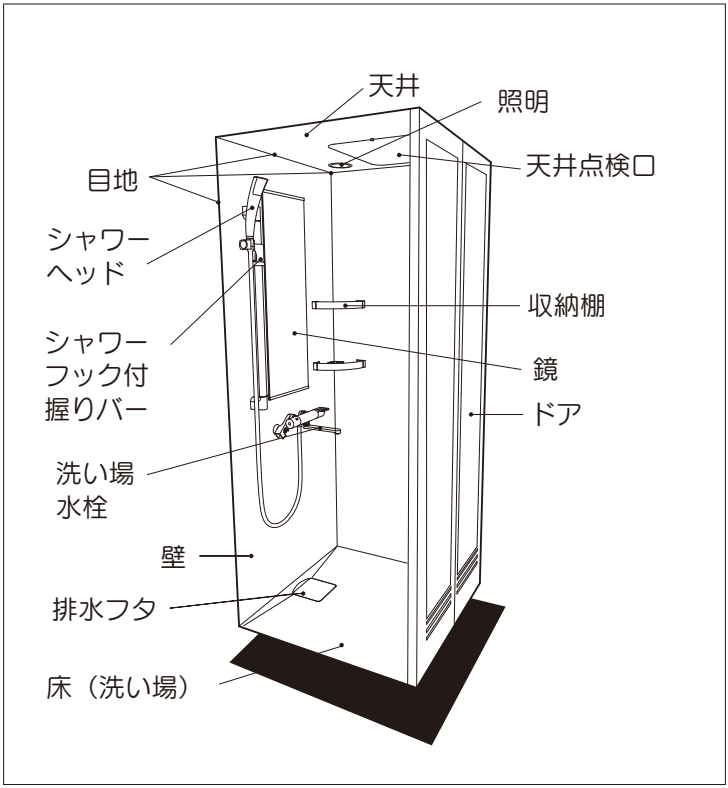
大切に保管してください

このたびは「シャワールーム」を
お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は「シャワールーム」を長くご愛用いただくために、
正しい使い方やお手入れ方法などを説明しています。

- ご使用前によく読んで正しくお使いください。
- 転居される場合、次に入居される方に、取扱説明書をお渡しください。
- 水栓・換気扇などの専用取扱説明書もあわせてお読みください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管ください。

各部のなまえ



この図は各アイテム組みあわせの一例です。
プランごとに組みあわせが異なったり付属しない部品もあります。

もくじ

安全に関する
ご注意はご使用前に
必ずお読みください。

水栓やドアなど、
各部品の使い方や、
使用上のお願いなどを
説明しています。

お手入れの
心がけや、部品ごとの
お掃除方法などを
紹介しています。

使っていて
不具合を感じたときに
お読みください。

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 4

使い方

浴槽にお湯をためる …… 8
浴槽に入る …… 10
洗い場で水栓を使う …… 11
クリン軟水を使う …… 13
洗い場でお湯を使う …… 14
カウンターを使う …… 15
鏡を使う …… 17
器具類を使う …… 18,19,20,21,59
ドアを開閉する …… 22
換気する …… 27
快適に使っていただくために …… 28

お手入れ

お手入れのキホン1・2・3 …… 29
浴槽まわりのお手入れ …… 36
排水・床まわりのお手入れ …… 38
壁・天井・カウンターまわりのお手入れ …… 43
クリン軟水のお手入れ …… 45
水栓のお手入れ …… 47
ドアのお手入れ …… 49
照明のお手入れ …… 54
換気扇・器具類のお手入れ …… 57
点検とメンテナンス …… 60

困ったときは

「あれ？」と思ったら …… 62
アフターサービスについて …… 68

安全上のご注意 ①

必ずお守りください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。
⚠ **注意**	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意味
⃠	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
❗	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

⃠ **照明器具にタオルなどを掛けない**
- 過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

⃠ **照明器具のカバー(グローブ)を外したり、破損したまま使わない**
- 感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

❗ **照明器具や換気扇の手入れは電源(スイッチ)を切ってから行う**
- 感電やけがをするおそれがあります。

⃠ **故障、破損したら使用しない**
- 事故や故障の原因になることがあります。

⃠ **分解、修理、改造をしない**
- 感電や故障の原因になることがあります。

❗ **組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る**
- 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

⃠ **お酒を飲んで入浴しない**
- 足をすべらせ転ぶおそれがあります。

安全上のご注意 ②

⚠警告

洗面器に硬いものや先のとがったものをぶつけない

●破損してけがをするおそれがあります。

⚠注意

壁パネルに無理な力を加えたり、硬いものをぶつけたり、こすったりしない

●破損してけがをしたり、照明器具の破損や、周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります。

ドアのハンドルや引き手にぶら下がったり、無理な力をかけない

●ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

握りバーに乗ったり、ぶら下がったりしない

●破損や転倒によるけがのおそれがあります。

設置して 8～10 年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する

● 設置して 8～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

床が石けんや湯あかで濡れているときは、洗い流す

●ころんでけがをするおそれがあります。

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ずお買い上げの販売店などに相談する

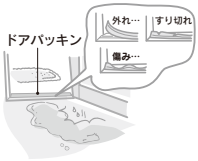
●誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。

排水口にシンナーなどの溶剤を流さない

●排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

●金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。



ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使わない

●水漏れのおそれがあります。

ドアに勢い良く水をかけない

●水漏れのおそれがあります。

洗面器に手をついて無理な力をかけない

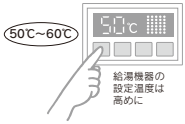
●洗面器ががたついたり、ずれたり、破損してけがをするおそれがあります。

洗い場で水栓を使う ①

ご使用にあたってのお願い

給湯機器の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定

快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。



詳しくは給湯機器や水栓の専用の取扱説明書をご覧ください。

切り替え操作はよく確かめて

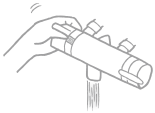
切替ハンドルはシャワーと吐水口の位置をよく確かめて操作してください。

ハンドル操作はゆっくりと

切替ハンドルを急激に動かすと配管を傷める原因になりますのでゆっくりと操作してください。

熱いお湯には気をつけて

熱いお湯を出したあとは水栓の中が熱いのでしばらく水を出してください。



湯温の確認も忘れずに

水栓からお湯を出すときは洗面器などにお湯をためて手で軽く温度の確認をしてください。

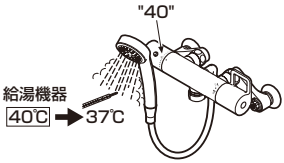
操作部以外は触らずに

お湯を出すと水栓表面が熱くなるので操作部以外は触らないでください。

サーモ水栓のしくみ

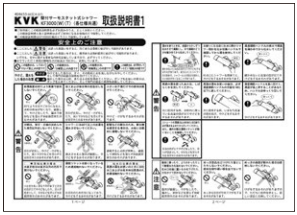
サーモ水栓は、湯と水を混合して、吐水温度を調整しています。このため、ガス給湯機器や電気温水器などの給湯機器で設定している温度より、吐水温度が低くなります。

（例）給湯機器の設定を40℃、サーモスタット混合栓の目盛りは"40"でも、吐水温度は37℃に下がるなど低下する温度は水圧などご使用の条件によって異なります。



専用説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。



壁付水栓の場合

水栓・シャワーヘッドはこの他のタイプが使用される場合があります。

割り込み Q&A

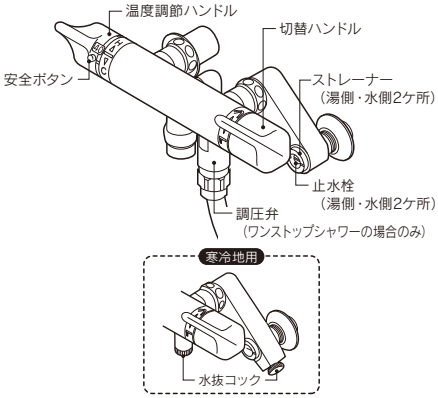
Q. シャワーヘッドの水が、なかなか止まらないのですが。

A. メタル調やマッサージタイプの大きなヘッドのシャワーは水切れに時間がかかります。しばらくして（1分程）止まりますので異常ではありません。

洗い場で水栓を使う ②

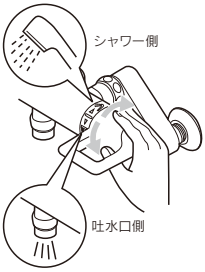
壁付サーモシャワー水栓

各部のなまえ



吐水・シャワーの切替

- シャワーは、切替ハンドルを上にまわすと水が出ます。また、上いっぱいにまわすと流量が最大になります。
- 吐水口は、切替ハンドルを下にまわすと水が出ます。また、下いっぱいにまわすと流量が最大になります。



お願い

- マッサージ吐水の顔への使用はしないでください。

  直接、目や耳などにシャワーが当たるとけがをするおそれがあります。

- メタル調のシャワーヘッドは、ぶつけたり落としたりしないでください。

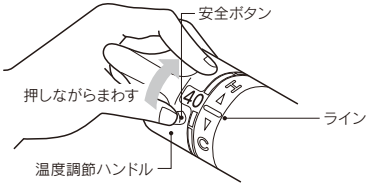
  表面のメッキが割れてけがをするおそれがあります。万一メッキが割れた場合は、直ちに新しいシャワーヘッドに交換してください。

- ワンストップシャワーの使用後は、必ずシャワー止水ボタンを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください。

  水栓金具本体のハンドルで止水しないと、器具が破損するおそれがあります。

温度の調節

- 温度調節ハンドルをまわし、お好みの温度をラインに合わせてください。目盛りは『40』を目安としてください。
- 40℃以上のお湯を出すには、安全ボタンを押しながらハンドルをまわしてください。

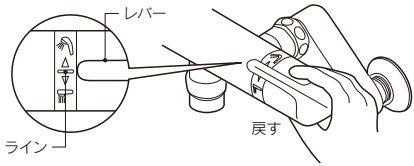


- 安全ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛り『40』以下に戻しておいてください。

目盛りの『40』は吐水温度の目安です。

水（湯）を止める

- 切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置まで戻すと水が止まります。



凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。
- 凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- 凍結が予想される地域で水栓を使うときは、水栓内の水が凍らないよう凍結予防の作業を行ってください。

凍結による破損は保証期間内でも有料修理になります。

一般地用の場合

一般地用の水栓は以下の処置によって凍結を予防してください。

- 水栓より少量の水を出す。
- 配管部などに保温材を巻く。

寒冷地用の場合

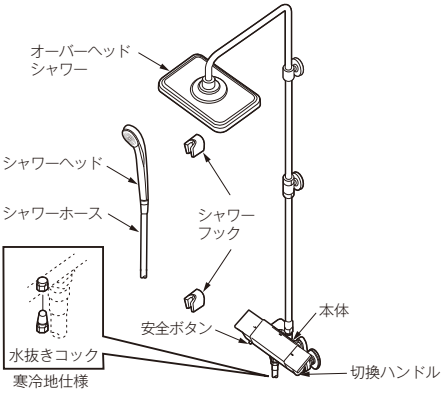
詳しくは専用の取扱説明書をお読みください。

洗い場で水栓を使う ③

使い方

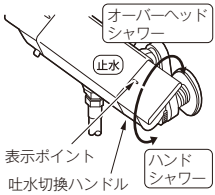
オーバーヘッドシャワー水栓

各部のなまえ

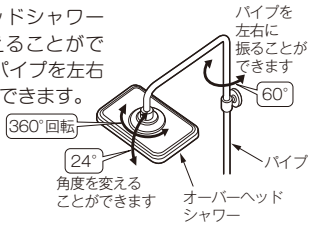


吐水・シャワーの切替

● シャワーは切り替えハンドルを上にまわすとオーバーヘッドシャワーから水が出ます。また下にまわすとハンドシャワーから水が出ます。

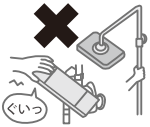


● オーバーヘッドシャワーは角度を変えることができます。またパイプを左右に振ることができます。



お願い

● **器具にのったり、パイプ部を握りバーとして使用しないでください。**
器具が破損し、けが・水漏れのおそれがあります。



● **オーバーヘッドシャワーやパイプ部にぶら下がったり物を掛けたりしないでください。**
器具が破損し、けが・水漏れのおそれがあります。

● **オーバーヘッドシャワーの使い始めは水が出ます。適温かどうか確かめてからお使いください。**

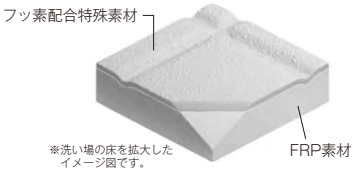
● **オーバーヘッドシャワーを止めた直後、水滴が落ちることがありますが、これは異常ではありません。気になる場合はオーバーヘッドシャワーを水平にしてお使いください。**

洗い場でお湯を使う

床について

洗い場の床は排水効果が高く、またすべりにくい微細なパターンとなっています。このパターンの性能を維持させ、長く快適にご使用いただくためには、定期的なお手入れが必要になります。

- 温クリンフロアは皮脂汚れが付きにくく、落としやすくなるように配慮した商品ですが、汚れが付かない商品ではありません。必ず定期的にお手入れをお願いします。



※洗い場の床を拡大したイメージ図です。

お手入れ方法は24ページ「床のお手入れ」に従ってください。

⚠注意

シャワールーム内は石けん液などですべりやすくなるので気をつける

ころんでけがをするおそれがあります。

洗い場での排水について

洗い場の排水口には、排水トラップ(水をためて臭気止めをする機構)がついています。

⚠注意

- **排水口にシンナーなどの溶剤を流さない**
- **60℃以上のお湯を流さない**

排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

お願い

- **排水口のヘアキャッチャーを取り外した状態で使用しないでください。**
  毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- **排水トラップの封水を切らさないでください。**
  封水がなくなると、排水管内に発生しているガスが、メッキ・金属製品やゴム部品の腐食や変色の原因になります。

割り込み Q&A

Q. 旅行から帰ってきたら、シャワールームから変なにおいがしました。異常でしょうか。

A. 長期間留守にした場合、排水トラップにためている水:封水が蒸発し、排水管の臭気がのぼり、シャワールームに悪臭が発生する場合があります。
この場合は、洗い場の排水口に洗面器1杯の水をそれぞれ静かに流し、排水トラップの封水をためて排水管の臭気を抑えてください。

Q. 使用できない洗面器・風呂いすはありますか?

A. 浴室用以外のものは避けてください。なお、浴室用であれば木製のものでもご使用できます。

Q. 毛染め液をこぼしたらどうなりますか?

A. 染み込んで取れなくなるおそれがあります。広がらないようすぐにふき取って、洗い流してください。

Q. お手入れで取れない汚れはありますか?

A. さびがつくと取れなくなります。
ヘアピンやカミソリの刃などを床に置いたままにしないでください。もらいさびがつきます。

Q. 除菌楽すてヘアキャッチャーや排水トラップ底の銅が黒や緑に変色しています。異常でしょうか。

A. 銅の表面が酸化したもので異常ではありません。10円玉が黒ずむのと同じ現象です。専用の取扱説明書のお手入れ方法をご覧ください。

器具類を使う ①

専用取扱説明書の確認

以下の機器は専用の取扱説明書をご用意していますので、使い方はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

換気扇

換気乾燥機

給湯機やこの他の機器についても、専用の取扱説明書がある場合は、よくお読みになって正しくご使用ください。

鏡について

お願い

- 鏡に物をぶつけたり、たたいたりしないでください。
  割れるおそれがあります。

割り込み Q&A

Q. 鏡がくもるのはなぜでしょうか。また、くもらないようにする方法はありませんか。

A. 鏡のくもりは、入浴中の温かい空気に含まれる水分が冷たい鏡の表面にふれ、水滴となって現れる現象です。この水滴の粒が鏡を見づらくさせるのです。
一般タイプの鏡の場合は、石けん水を含んだタオルで鏡の表面をふいていただくと水膜ができ、一時的にくもりを抑えることができますのでお試しください。

照明

⚠ 警告

照明器具にタオルなどを掛けない
過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

照明器具のカバー（グローブ）を外したり、破損したまま使わない
感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

照明器具のグローブに荷重を加えない
グローブが落下してけがをするおそれがあります。

LEDランプのLED素子にはバラツキがあるため、同じ形式でも光の色、明るさが異なることがあります。

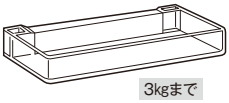
お願い

- 器具の改造や部品の交換は行わないでください。
  落下、感電、火災などの原因となります。
- ランプを外したまま、使用しないでください。
  感電、火災などの原因となります。
- 点灯中及び消灯後しばらくは高温になっていますので、照明には手を触れないでください。
  やけどの原因となります。
- LEDランプが入った照明を長時間見つめないでください。
  目がチラつくことがあります。
- 照明には直接水やお湯をかけないでください。
  故障の原因となります。

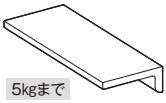
器具類を使う ②

収納棚

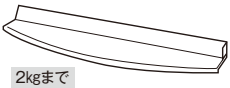
●ワイドシェルフ



●プレーンシェルフ



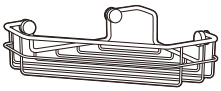
●フロントシェルフ



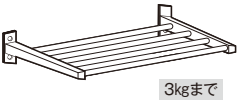
●コーナーシェルフ

●ワイヤーラック(浅型)

●ワイヤーラック
(コーナー型)



●タオル棚



アドバイス

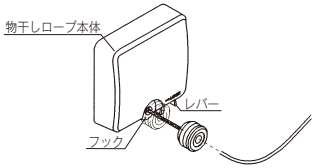
ワイヤーラックは、水切れの良い構造となっています。
高さのあるシャンプーボトルなどで底部面積が小さいもの(直径6cm以下程度)を浅型タイプに置いた場合、不安定になることがあります。
また、コーナー型の場合は、深さはありますが、ワイヤーの間隔が広くなっています。
もし、ボトルの底部がだ円形状であれば、長い側をワイヤーと直交させる向きで置く方が安定します。お使いになるボトルでお試しの上、ご使用ください。

お願い

- **各棚(1段ごと)に　　で表示した以上のものを置かないでください。特にワイヤーラック(コーナー型)は、平均的にものを置いてください。**
  置くものの重さが限度を超えたり、かたよって置くと変形や破損の原因になり、置いているものが落下してけがをするおそれがあります。
- **棚にぶら下がったり、強く引っぱらないでください。**
  破損したり、転倒などで、けがをするおそれがあります。
- **クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう、ふきとって置いてください。**
  液に含まれる成分が棚を傷めるおそれがあります。
- **さびやすいものを棚に放置しないでください。**
  もらいさびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。

物干しロープ

衣類を干すときに使用します。物干しロープの取り扱い方法については専用の取扱説明書をご覧ください。



⚠注意

⊘ **物干しロープにぶら下がらない**
破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。

⊘ **レバーがロックの状態の時に、無理矢理フックを引っ張り出さない。**
破損の原因となります。

お願い

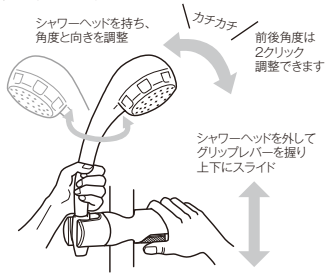
- **物干しロープに10kg以上のものを掛けないでください。**
  破損するおそれがあります。

器具類を使う ③

シャワーフック付握りバー

（シャワーフックが横向きの場合）
シャワーフックが正面向きの場合はP40をご確認ください。
シャワーフック付握りバーは、シャワーフックが上下スライドして、使いやすい位置に高さや角度を調整できます。

●サイドフックタイプ



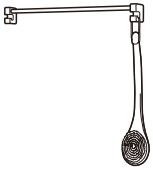
お願い

- **シャワーフックにつかまり、立ち上がったりしないでください。**
  無理な力が加わり、上下に動き転倒などでけがをするおそれがあります。
- **上下移動は必ずグリップレバーを握って行ってください。**
  無理な力で移動させるとスライド機構の破損の原因になります。
- **シャワーヘッドを引っ掛ける際は、シャワーフックにしっかりと掛かったか確認してください。**
  シャワーヘッドを落としてけがをするおそれがあります。
- **シャワーフックを鏡にぶつけないでください。**
- **角度調整はゆっくり行ってください。**
- **シャワーの勢いが強い場合は、吐水量を調整してご使用ください。**
  シャワーの勢いで角度や向きが変わったり外れたりするおそれがあります。
- **バーに付着したシャンプー・リンス・洗剤などは十分に洗い流してからご使用ください。**
  付着したまま使用されますと、フックの保持力が弱まるおそれがあります。
- **シャワーヘッドからの水垂れが気になる場合は、前後角度を調整してください。**

タオル掛け

タオル掛けのフック付タイプは、ブラシなどの小物を下げて使用できます。

●フック付きタオル掛け



⚠注意

タオル掛けにつかまり立ち上がったり、ぶら下がったりしない
破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。

お願い

- **タオル掛けに1㎏以上のものを掛けないでください。**
  変形や破損の原因になります。

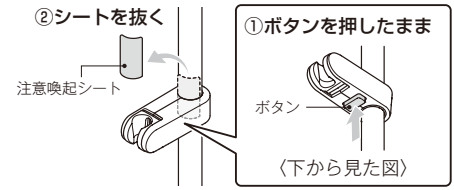
器具類を使う ④

シャワーフック付握りバー

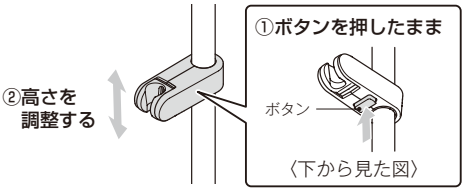
（シャワーフックが正面向きの場合）
シャワーフック付握りバーは、シャワーフックが上下スライドして、使いやすい位置に高さや角度を調整できます。

●フロントフックタイプ

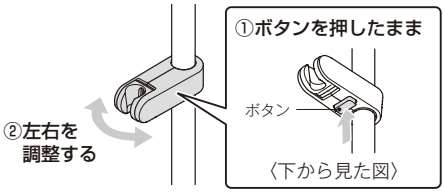
はじめて使用するとき



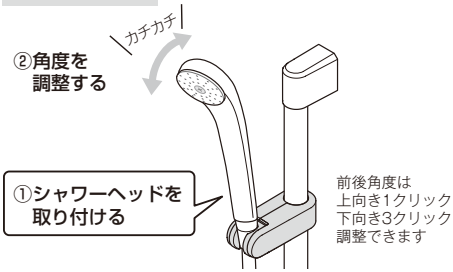
高さ調整の仕方



左右調整の仕方



角度調整の仕方



お願い

- シャワーフックにつかまり、立ち上がったりしないでください。
  無理な力が加わり、上下に動き転倒などでけがをするおそれがあります。
- 上下移動は必ずボタンを押しながら行ってください。
  無理な力で移動させるとスライド機構の破損の原因になります。
- シャワーヘッドを引っ掛ける際は、シャワーフックにしっかりと掛かったか確認してください。
  シャワーヘッドを落としてけがをするおそれがあります。
- シャワーフックを鏡にぶつけないでください。
- 角度調整はゆっくり行ってください。
- シャワーの勢いが強い場合は、吐水量を調整してご使用ください。
  シャワーの勢いで角度や向きが変わったり外れたりするおそれがあります。
- バーに付着したシャンプー・リンス・洗剤などは十分に洗い流してからご使用ください。
  付着したまま使用されますと、フックの保持力が弱まるおそれがあります。
- シャワーヘッドからの水垂れが気になる場合は、前後角度を調整してください。

握りバー

⚠注意

🚫 握りバーの、ブラケットカバーを外して使用しない

握りバーが破損したり、けがをするおそれがあります。

ドアを開閉する ①

ご使用にあたってのお願い

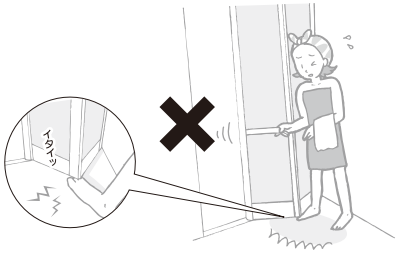
⚠注意

ドアに勢い良く水をかけない
水漏れのおそれがあります。

ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使わない
水漏れのおそれがあります。

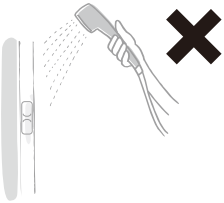
ドアの開閉は勢いよくしないで

ドアを勢いよく開閉したり無理な力を加えたりしないでください。
手や足を挟んでけがをしたり、シャワールーム外に水やお湯が出るおそれがあります。



ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけないで

ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけないでください。
ロックの故障原因になるおそれがあります。



ハンドル(引手)に体重をかけないで

ドアのハンドルや引手に体重をかけたり、お子さまがぶら下がったりしないようにしてください。
ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

ドアにずっと寄りかからないで

ドアにずっと寄りかからないでください。
ドアの面材(樹脂の部分)が変形したり、割れてけがをするおそれがあります。

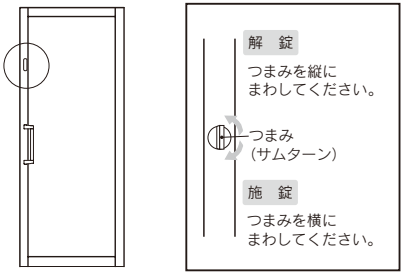
ドアには換気口(ガラリ)があるものとないものがあります。タイプによっては操作が異なる場合がありますので、ご使用のドアのタイプを確認ください。

ドアを開閉する ②

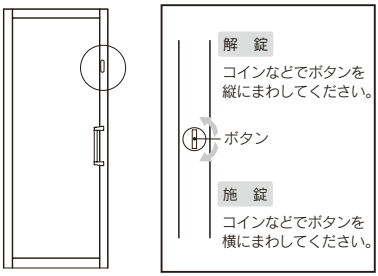
開き戸（ガラリなし）

ロック（施錠）する

シャワールームから
の施錠と解錠



脱衣室側からの
施錠と解錠　（非常救出時）



アドバイス

小さいお子さまがいるご家庭ではシャワールームをご使用にならないとき、脱衣室側から施錠しておくと、お子さま1人で入りにくくなりますので、ご活用ください。

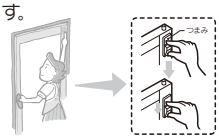
ドアを取り外す

非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。

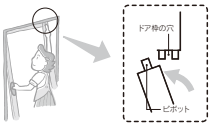
取り外し方

①ロック(つまみ)を解錠します。

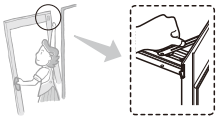
②ドアのハンドルを持ちながらドア吊り元上部のつまみをゆっくり下げてください。



③つまみを下げたままドア上部をシャワールーム内側に少し倒し、ドアのピボットをドア枠の穴から取り外してください。



④両手でしっかりとドアを持ち、脱衣室側に取り外してください。その際、アームストッパーは持ち上げてください。



取り付け方

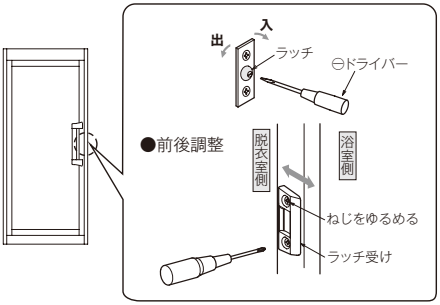
取り付けは逆の手順で行ってください。

⚠注意

非常時以外はドア吊り元のつまみに触らないでください。

ドア開閉の調節

●ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（ボール状）の出っ張りと、ドア枠のラッチ受けの位置を調整してください。



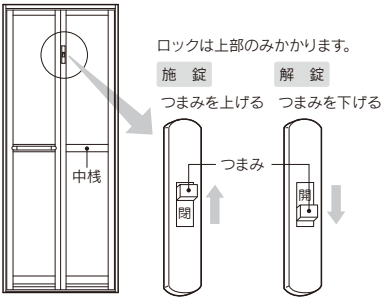
チェック! 詳しくは28ページをご覧ください。

ドアを開閉する ③

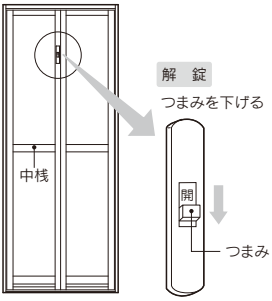
折戸（ガラリあり、なし共通）

ロック（施錠）する　※ロック付きの場合

●シャワールームからの施錠と解錠



●脱衣室からの解錠（非常救出時）

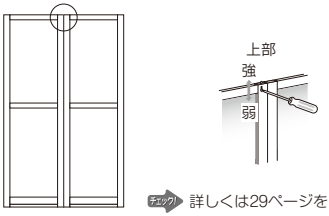


必ずドアを閉めた状態でつまみを操作してください。中桟のないタイプもあります。

ドア開閉の調節

●開閉力調節方法

開閉が軽すぎる、または重すぎる場合は、図のねじをゆるめて、上下に調整してください。調整後はねじを確実にしめてください。（ガラリありの場合）



チェック 詳しくは29ページをご覧ください。

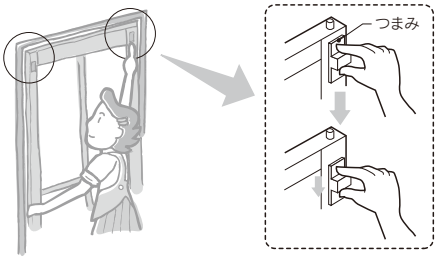
ドアを取り外す

非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。ドアの仕様によっては、ドアを取り外すことができないものがあります。

取り外し方

①ロック付きの場合、解錠します。

②○で囲んだ部分のつまみ（2ヶ所）を下げながらドア上部をシャワールーム側に倒してください。
その際ドア上部は片方ずつ外してください。



③両手でしっかりとドアを持ち、脱衣室側に取り外してください。

取り付け方

取り付けは逆の手順で行ってください。

ドア本体に貼られている取り付け方のラベルも参照してください。

⚠注意

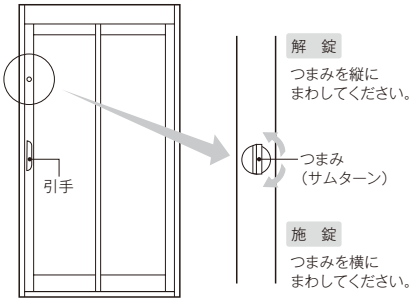
非常時以外はつまみに触らないでください。

ドアを開閉する ④

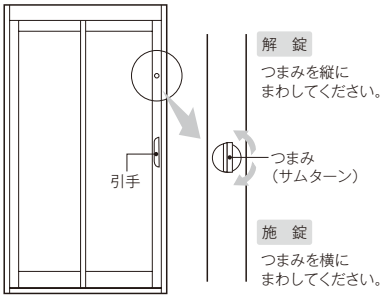
2枚引戸（引手がある仕様）

ロック（施錠）する

●バスルームからの施錠と解錠



●脱衣室側からの施錠と解錠（非常救出時）



アドバイス

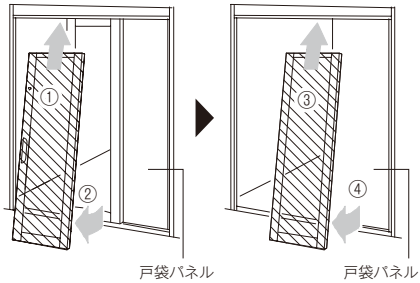
小さいお子さまがいるご家庭ではバスルームをご使用にならないとき、脱衣室側から施錠しておくと、お子さま1人で入りにくくなりますので、ご活用ください。

ドアを取り外す

非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。

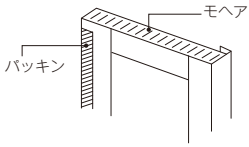
取り外し方

①ロック（つまみ）を解錠します。
②ドアの引手とドアを持ち、押し上げながら下のレールから外して、ドアを1枚ずつ引き抜いてください。



取り付け方

取り付けは逆の手順で行ってください。
モヘアの付いている部材が上側です。
またハンドルがついていない扉から先に取り付けてください。パッキンが脱衣室側になるように取り付けてください。



※図は戸袋パネル側の障子です。

ドアがレールに乗っていることを確認した状態で、ドアを支えながら軽く開閉し、扉がスムーズに動くことを確認してください。

引手がない仕様は38ページをご覧ください

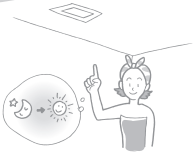
換気する

換気の心がけ

シャワールームを蒸気のこもったままにしておくと、悪臭やかびなどの発生原因になります。
また、シャワールームの傷みが早くなることもありますので、換気、乾燥を心がけましょう。

換気は３時間を目安に

不充分な換気はかびの原因になります。入浴後、換気扇を３時間を目安に運転してください。



24時間換気に対応していない換気扇で24時間の換気運転をすると、換気扇のご使用年数が極端に短くなります。専用の取扱説明書もあわせてお読みになって、ご使用ください。

入浴中の換気は避けて

換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガラリから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じることがありますので、入浴中の換気は避けてください。

24時間換気を行っている場合は、入浴後に必ずスイッチを入れて24時間換気を続けてください。

入浴後は水をかけて

最後に入浴した人が壁や床に冷水のシャワーをかけておくと、こもっていた蒸気が冷えて、換気効率が上がります。

床面、天井の表面に付いた水滴は、換気扇をまわしても、湿度の高い雨の日や寒い冬の日等には取れないことがありますのでご了承ください。
特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご了承ください。

専用説明書の確認

換気扇、換気乾燥機は専用の取扱説明書をご用意しています。使い方などはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

換気乾燥機の場合

換気扇の場合

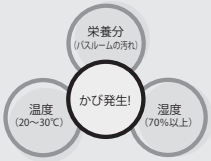
換気扇、換気乾燥機はこの他のタイプが使用される場合があります。

割り込み Q&A

Q. 換気していればかびは発生しませんか。

A. かびは温度、水分、栄養源の３点が揃うと繁殖するので、換気だけでかびの発生を抑えることはできません。
かびの栄養源になるシャワールームの汚れを取り除いてから、湿気を防ぐための換気をすることが、かびの発生を抑えるポイントになります。
かびが生えない清潔なシャワールームを保つには、こまめなお手入れと十分な換気を心がけましょう。

［かびが発生する３大要素］



快適に使っていただくために

床

お願い

- **おもちゃや硬いものでこすったり、ひきずったり、重くて硬いものを落さないでください。**
  傷が付いたり、破損するおそれがあります。
- **ヘアピンやカミソリの刃などを置いたままにしないでください。**
  もらいさびがつくおそれがあります。

目地・コーキング・ドアパッキン

お願い

- **床、壁、天井などの継目部分にある目地やコーキング、ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、切れ目から引っ張ったりしないでください。**
  水漏れのおそれがあります。
- **入浴後、目地やコーキング、ドアパッキンにかびなどが生えないよう換気してください。**
  お手入れで取れないかびがついた場合は、目地やパッキンの交換またはコーキングの打ち直しが必要になります。

壁・天井・ドア

お願い

- **硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。**
  傷が付き破損するおそれがあります。
- **壁、天井への穴あけ、釘打ちなどは絶対にしないでください。**
- **壁面に吸盤付の石けん受けなどを取り付けないでください。**
  吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

その他

お願い

- **折戸のパネルを開け閉めする際、摺動性が悪く、重い場合は、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。**
- **部材や器具、部品などが壊れたり、不具合で使用できなくなった場合は、すぐに修理をご依頼ください。**
  そのままにしているとけがをしたり、元に戻せなくなります。
- **お手入れの目的以外で、指定していない部品を取り外したり、ねじなどを緩めて、分解しないでください。**
  元の状態に戻せない場合は、本来の機能・強度に戻らず、故障の原因になります。
- **シャワールーム内でタバコを吸ったり、その他の火気（コンロ、ストーブなど）を使用しないでください。**
  火災、コゲなどの原因になります。
- **毛染液、染料を使ったあとは軽くふき取り、すぐに洗い流してください。**
  しみ込んで取れなくなるおそれがあります。
- **シャンプーなどの洗浄剤部材に残らないよう洗い流したり、ふき取ってください。**
  液に含まれる成分が部材を傷めるおそれがあります。

お手入れのキホン ①

キホン1 部分ごとの汚れを知りましょう。

天 井

●おもな汚れ
ほこり、かび

気をつけること　お手入れをしたときの天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器にかからないようにしてください。

壁

●おもな汚れ
かび、飛び散ったシャンプー

気をつけること　飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくとかびの原因になります。

排水まわり

●おもな汚れ
髪の毛などのごみ、ぬめり

気をつけること　髪の毛が排水トラップにたまったままにしておくと排水しにくくなります。

ド ア

●おもな汚れ
かび、飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤

気をつけること　飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
パッキンにかびが生えると落ちにくくなります。

換気扇類

●おもな汚れ
グリルに付くかび、フィルターのごみ

気をつけること　グリルを外して洗うときは電源スイッチを切ってください。

照 明

●おもな汚れ
カバー(グローブ)に付くかび

気をつけること　カバー(グローブ)を外して洗うときはスイッチを消してください。

水 栓

●おもな汚れ
水栓本体:水滴のあと・ストレーナーの目詰まり
ホース:かび

気をつけること　水滴のあとはそのままにしておくと頑固な汚れになって落しにくくなります。

床(洗い場)

●おもな汚れ
湯あか、石けんかす
シャンプーなどの洗浄剤

気をつけること　汚れがたまったままにしておくと床の水はけが悪くなります。

器具類

●おもな汚れ
水滴のあと、かび

気をつけること　器具を壁に取り付けた部分にたまる水分やほこりを放っておくと頑固な汚れの原因になります。

鏡

●おもな汚れ
飛び散ったシャンプー、水滴のあと

気をつけること　飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくと水あかの原因になります。

目地・コーキング部

●おもな汚れ
かび、水あか

気をつけること　石けんかすなどの汚れを放っておくと、かびが生える原因になります。また、お手入れで取れないかびがついた場合は、目地の交換またはコーキングの打ち直しが必要になります。

収納棚

●おもな汚れ
水あか、シャンプーなど洗浄剤や化粧品の液だれ

気をつけること　シャンプーなどの洗浄剤の液だれを放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
クレンジングオイルや整髪料、アロマオイルなどの入浴剤の液だれを放っておくと棚を傷めるおそれがあります。

キホン2 洗剤と道具は正しく使いましょう

洗剤

洗剤はおもに界面活性剤のはたらきで汚れを化学的に分解し落とします。
クレンザーなどのみがき粉は化学的な分解で落ちない汚れを落とすために使用します。
汚れの種類にあわせて使いわけてください。

●浴室用中性洗剤

皮脂や石けんかすの付きやすいところ（床、壁など）のお掃除に使用します。

お願い

●洗剤を使用した後は、洗剤の成分が残らないよう確実に洗い流してください。
中性と表示されている洗剤でも、溶剤が成分として含まれているものがあり、その成分を付着したまま放置しておくと、棚やパッキンなど各種樹脂製品を傷め、変色や割れの原因となります。

●台所用中性洗剤

（オレンジオイルが含まれていないタイプ）
機器のリモコンパネルなど、石けんかすが付きにくい樹脂製品のお掃除に使用します。

●浴室用クリームクレンザー

（おふろのルックみがき洗い：ライオン）
鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「おふろのルックみがき洗い」以外は使わないでください。また、他の部材には使用しないでください。

⚠注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。

ブラック色の部材（カウンター、換気扇グリルなど）は強くこすらない。
白いふきあとが残ることがあります。

⚠注意

かび取り剤（漂白剤）

塩素系のかび取り剤は、頻繁に使わず必要なときだけにしてください。また、必ず製品の注意事項を読み正しくご使用ください。特にパッキン、目地、コーキング材などシャワールームの樹脂部分に長時間付着させないようにしてください。
なお、メッキ部分や金属部品へは使用しないでください。さびてしまうことがあります。

使ってはいけない洗剤

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わないでください。

●みがき粉などの粒子の粗い洗剤
●シンナー　●酸性・アルカリ性の洗剤
●ベンジン　●漂白剤　●酸素系漂白剤
●激泡タイプのアルカリ性洗剤
●重曹　●セスキ炭酸ソーダ　●クエン酸※

※除菌楽すてヘアキャッチャー、除菌排水口の部品は除きます。

お願い

洗剤の扱いは慎重に…
洗剤は使い方を間違えると部材を傷めたり、人の体に有毒なものになってしまいます。気をつけて使いましょう。

使う前には必ず容器の説明書を読んでください。

洗剤は混ぜて使わないでください。

使うときはゴム手袋をしてください。

お掃除道具

シャワールームの素材にあわないお掃除道具を使うと、表面に傷がついたり、故障の原因になります。
部位ごとに適した道具を揃えてください。

●柔らかいスポンジ

いちばんよく使います。台所で使う、裏面にナイロンたわしがあるものや、研磨剤が入ったものは使わないでください。

●毛先が樹脂のブラシ

床全体を洗うときに使います。

壁など床以外の部分に使用しないでください。

●柄のついたスポンジ

天井などの手の届かないところのお手入れに使います。

●割りばし

ドアの下枠にたまった汚れをかき出したり、とり除くために使います。

●ゴム手袋

手を保護するために使います。洗剤を使うときは必ず用意してください。

●歯ブラシ

水栓のストレーナーなど小さな部品を掃除するときに使います。使い古して捨てる直前の、毛先がはみ出しているものが最適です。

ドアのパッキンや床まわりのコーキングなどに使用しないでください。

●柔らかい布（古タオル）

水栓本体を磨いたり、照明のカバー（グローブ）や、機器のリモコンパネルを拭いたりするときに使います。

使ってはいけないお掃除機器

●高圧洗浄機

高圧な水によって部品がずれて水漏れすることがあります。

●スチーム洗浄機

高温の蒸気によって部品が変形する事があります。

使ってはいけないお掃除道具

頑固な汚れは、たわしのような硬い毛先のブラシ類でゴシゴシこすってしまいがちですが、部材の表面を傷つけてしまうので、使わないでください。
また、洗剤を使わず水だけで汚れを落とす高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）は、長く使うと光沢がなくなってしまいますので、使わないようにしてください。

●ナイロン・スチールたわし

●たわし

●高機能スポンジ
（メラミンフォーム製スポンジ）
●研磨剤入りスポンジ

お手入れのキホン ③

キホン3 お手入れの計画を立てて実践しましょう

お掃除の秘訣は早め早めの対処から。毎日のお手入れから毎年のお掃除まで、お手入れ計画を簡単に決めて、キレイなシャワールームが保てるようお手入れを行ってください。

毎日

- 入浴した人が都度シャワーで床に残っている石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。
- 最後に入浴した人が壁、洗い場床、ドアなどシャワールーム全体に熱めのシャワーをかけて石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

- 収納の表面はシャンプーなど小物の液だれ・水気をふき取ってください。
- 排水口のヘアキャッチャーは、髪の毛やごみを捨ててください。
- 室温を下げるために、冷水のシャワーをかけたあと換気扇を3時間を目安に運転してください。
- 水あか防止のために、水気をふき取ってください。

週に1度

- **壁、床、ドア、鏡などシャワールーム全体の表面**
  柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、石けんかすや皮脂などの汚れを洗い流す。

- **水栓、ドアのパッキン**
  柔らかい布（タオル）に浴室用中性洗剤を薄めて適量とり、汚れをふき取る。

月に1度

- **天井の表面**
  柄の長いスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流す。

- **ドアの上枠換気部**
  換気弁を浴室側に開き、たまったごみを綿棒や棒にやわらかい布を巻き付けたものでふき取る。
- **ドアの下枠やドアの排水溝**
  ドア枠の下枠（レール）にたまったごみを割りばしにティッシュを巻いたものなどで取り除く
- **タオル掛け、握りバーなどの器具類**
  柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、バーを握るようにして洗う。

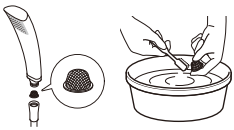
年に1度

- **換気扇類のグリル**
  グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

半年に1度

- **壁付照明のグローブ、ダウンライトのカバー**
  ぬるま湯に浸した柔らかいタオルで汚れをふき取る。

- **シャワーヘッド**
  シャワーヘッドのフィルターを外して、歯ブラシでごみや水あかを取り除く。



汚れてきたら

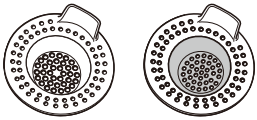
- **鏡**
  柔らかいスポンジにクリームクレンザーを適量とり、汚れを洗い流す。
- **給湯器などのリモコン表面**
  柔らかい布（タオル）に台所用中性洗剤を薄めて適量とり、汚れをふき取る。
- **洗い場の床**
  翌朝に水たまりが残ったり、汚れがたまってきたら、浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ、2～3分おいてから、指定の道具でこすり洗い。

排水・床まわりのお手入れ

排水口

●ヘアキャッチャー　RJSの場合

ヘアキャッチャーには、楽すてヘアキャッチャーと除菌楽すてヘアキャッチャーがあります。

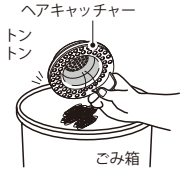


楽すて
ヘアキャッチャー

除菌楽すて
ヘアキャッチャー

毎　日

排水フタを外して、ヘアキャッチャーをまわして外し、たまった髪の毛などの、ごみを捨ててください。



月に1度

スポンジなどで汚れを洗ってください。
細かい部分は歯ブラシを使ってください。

除菌楽すてヘアキャッチャーの場合は月に1度程度、お手入れを行ってください。

●除菌排水口・防臭パイプ（筒）　RJSの場合

汚れが目立ったら

排水トラップの中にある防臭パイプ（筒）の汚れが目立ってきたら、まわしながら外して浴室用中性洗剤を使って、汚れを洗い流してください。
また、排水トラップ内に髪の毛がたまっていた場合は、手やピンセットなどで取り除いてください。

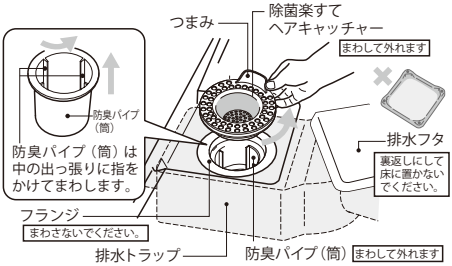
そのまま流すと詰まりの原因になります。

FSSの場合
1)上目皿をはずします。
2)目皿を回して排水トラップからはずします。
3)排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除きます。

●排水フタ　RJSの場合

週に1度

柔らかいスポンジで浴室用中性洗剤を使って、排水フタの表と裏、排水口全体を洗ってください。



お掃除が終わったら、防臭パイプ（筒）やヘアキャッチャー、排水フタを正しく取り付けてください。その後、トラップ内に封水をためるために洗面器1杯くらいの水を流してください。

お願い

- 洗剤を使用したあとは、十分に洗い流してください。
  洗剤の原液が付いたまま放っておくと部材を傷めます。
- 排水トラップのフランジはまわさないでください。
  ゆるんでトラップが外れると水漏れの原因となります。
- 排水トラップのフランジ周囲を歯ブラシなどでこすらないでください。
  パッキンを傷めるおそれがあります。
- 排水フタを裏返しにして床の上に置かないでください。
  排水フタの表面を傷めるおそれがあります。

⚠注意

除菌排水口の底部にある銅板を触らない
銅の端部で、指を切る恐れがあります。

使ってはいけない洗剤

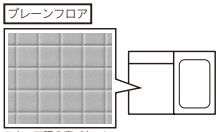
●かび取り剤　●酸素系漂白剤

除菌楽すてヘアキャッチャー、除菌排水口に使用している銅が腐食します。

床・壁・天井まわりのお手入れ

床

床は排水効果の高いパターンによって乾きやすくなっていますが、石けんかすや皮脂などの汚れがたまると乾きが遅くなります。
汚れがたまり乾きが遅くなる前に、こまめなお掃除をお願いします。



スクエア調の床パターン

毎　日

入浴した人が都度床にシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

週に１度

浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ2〜3分おいてから、柔らかいスポンジで床の表面全体を洗ってください。

汚れてきたら

付着した汚れが中性洗剤で取れない場合は、浴室用クリーム洗剤と毛先の柔らかいブラシで洗ってください。清掃後はすぐに洗い流してください。

お願い

- **シャンプーや洗浄剤は床に残らないよう必ず洗い流してください。**
  液に含まれる成分が床を傷めるおそれがあります。
- **床周囲に施されているコーキング部は歯ブラシでこすらないようにしてください。**
  コーキング材を傷めて、十分なシール効果を発揮できないおそれがあります。

壁

毎　日

最後に入浴した人が壁にシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤や皮脂を流してください。

週に１度

大きめのスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、壁全体を軽く円を描くように洗ってください。

目地・コーキング

毎　日

目地・コーキングが施されている壁・床・浴槽などの部位といっしょにシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

週に１度

浴室用中性洗剤を吹きかけ、柔らかいスポンジで表面をやさしく洗ってください。

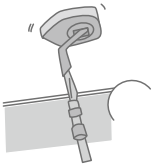
お願い

- 歯ブラシや楊枝などでこすらないでください
  切れたり剥がれて漏水の原因となるおそれがあります。
- 目地・コーキングが切れたり、剥がれている場合は、修理する必要があります。
  切れた状態でご使用すると水漏れするおそれがありますので、直ぐに取り替えてください。（有償）
  お買い上げの販売店または保証書記載のサービス網一覧表の窓口にご連絡ください。

天井

月に１度

手が届かない天井は、ついお手入れをおこたりがちです。柄の長いスポンジや、ペーパーモップに布をセットしたものに、浴室用の中性洗剤を付けて、軽くこすってください。その後は、シャワーで洗剤をよく洗い流してください。

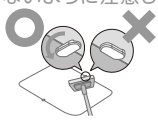


お願い

- 天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器に水がかからないようにしてください。　故障の原因となります。

清掃の際に注意していただきたいこと

- 点検口が落下するおそれがありますので、清掃の際には点検口を押上げないでください。
- 点検口フタ固定具が回転しないように注意してください。
  回転した場合は、点検口フタ固定具を点検口側に向けてください。



水栓のお手入れ①

各タイプ共通

水栓のメッキ表面は水あかが付くと、とても目立ってしまいます。
反対にピカピカになっていると、シャワールーム全体が明るくきれいに見えます。
最後に使った人が水気をふき取って、水あかが付かないよう予防しておきましょう。

●水栓の表面

毎　日

最後に使った人が飛び散ったシャンプーの泡などをシャワーで洗い流してください。

水アカ予防のため、水気をふき取ってください。

週に1度

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れをふき取りその後、乾いた布で仕上げてください。

アドバイス

水栓の形は複雑だから、細かいところまできれいに汚れをふき取りにくいものです。

ゴム手袋の上に軍手をはめて、雑巾代わりにすると細かいところの汚れもふき取ることができて便利です。

お願い

- **クレンザー（みがき粉）などの粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは使用しないでください。**
  器具の表面を傷付けます。
- **酸性洗剤、塩素系漂白剤、鉱物性潤滑剤、シンナー、ベンジン、アルコール類などは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。**

●シャワーホース

毎　日

ホースに飛び散ったシャンプーや石けんかすを洗い流してください。

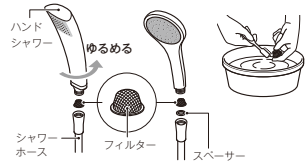
週に1度

スポンジに浴室用中性洗剤を付けて、水あかや石けんかすなどを洗い流してください。

●シャワーヘッド

年に1度

シャワーヘッドのフィルターにごみや水あかがたまっていると、シャワーの流量が落ちることがあります。ときどきフィルターを外して、歯ブラシなどでごみや水あかを取り除いてください。



取り付けるとき、フィルターの向きを間違えないでください。水栓の仕様によっては、フィルターのないものがあります。

定期点検について

- 年に1度は、配管のまわりを見て水漏れがないか確認してください。
  部品の劣化、磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

製品によって、清掃方法が異なりますので、水栓の取扱説明書をご覧ください。

水栓金具に不具合を感じた場合

水栓金具は安全・快適にご使用いただくために、定期的に部品の交換が必要です。不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

専用取扱説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。

壁付水栓の場合

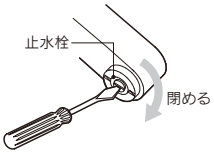
水栓のお手入れ②

壁付サーモシャワー水栓

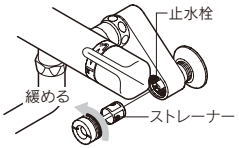
ストレーナー

ストレーナーにごみ、水あかなどがつまっていると、吐水量が少なくなったり、給湯器の着火が悪くなって温度調節がしづらくなります。
不具合を感じたときはストレーナーのお掃除をお願いします。

①マイナスドライバーなどで湯側･水側の止水栓を閉めてください。



②ストレーナーを緩めて取り出してください。



③ストレーナーにつまったごみや水あかなどを歯ブラシなどで取り除いてください。

④ストレーナーを取り付け、止水栓を開けてください。

ストレーナーは、湯側、水側の2カ所あります。

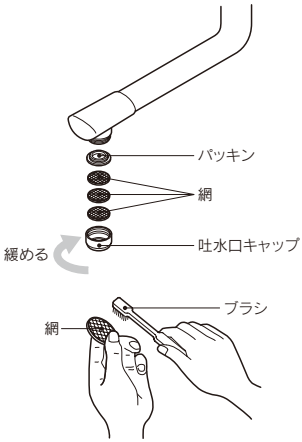
⚠注意

ストレーナーの掃除は、止水栓を閉め、湯側の取り付け部が熱くないことを確認してから行う

湯水が噴き出したり、熱い部品に触ったりすることで、やけどをするおそれがあります。

吐水口

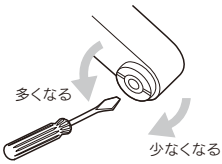
吐水口の中に入っている網もときどき外して、ごみ、水あかなどの汚れを歯ブラシなどで取り除いてください。



止水栓による流量調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。

- 止水栓の流量調節ねじをまわしてください。
  時計まわりにまわすと流量が少なくなり、反時計まわりにまわすと多くなります。



ドアのお手入れ ①

ドア（障子または框）

毎　日

最後に入浴した人がドアにシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散った石けんかすや皮脂を流してください。

週に１度

シャワールーム側は柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、ドアの面材に付いた汚れを洗い流してください。
脱衣室側は浴室用中性洗剤をつけた柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。

●強化ガラスタイプの開き戸の場合
この開き戸と他のドアでは面材のお手入れ方法が異なります。
脱衣室側は水で濡らした柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。汚れがひどくて取れない場合は台所用中性洗剤を含ませてください。

割り込み Q&A

Q.強化ガラス開き戸（各種）の面材に虹のような模様が見えるときがあります。汚れがついているのでしょうか。

A. 飛散防止用のフィルムは、蛍光灯や太陽光の反射先の映り込みの加減で表面に虹模様が見えることがあります。汚れではありませんので、そのままご使用ください。

お願い

■強化ガラス開き戸（各種）の面材

●**フィルム面（脱衣室側）をふくときは必ず一定方向に動かして往復させないでください。**
ふきあとが残る場合があります。

●**フィルム面（脱衣室側）にスポンジやブラシ、研磨剤などは使用しないでください。**
フィルムに傷が付き、フィルム本来の性能を発揮できません。

●**フィルム面（脱衣室側）にステッカーやシール、吸盤などを貼ったり、マジックで書いたりしないでください。**
フィルムを傷める原因となります。

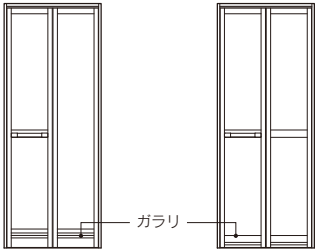
ご使用で不具合を感じた場合

こんなときはすぐに使用をやめて修理をご依頼ください。
●ドアがスムーズに開閉できない。
●ドアのレバーがガタつく。
●ハンドルのメッキがはがれた。

ガラリ（換気口）

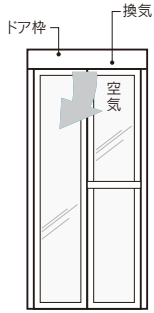
ドアにはガラリがあるものとないものがあります。

ガラリあり



ガラリがないタイプは、ドア枠上部に脱衣室から空気を取り込むための換気口が内蔵されています。

ガラリなし



お願い

●**ドア枠上部の換気口に手を入れないでください。**
手をはさんだり、換気口の構造を壊すおそれがあります。

ドアのお手入れ ②

パッキン

週に1度

ドアの障子またはドア枠についているパッキンは、洗い場の排水が脱衣室側へ流れないようにするための重要なパーツです。
浴室用中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れをふき取ってください。
パッキンは柔らかい部品ですので、傷めないよう汚れをやさしくふき取ってください。

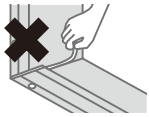
お願い

- **ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシ、かび取り剤は使用しないでください。**

  表面を傷めるおそれがあります。

- **ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、取り外したりしないでください。**

  水漏れのおそれがあります。



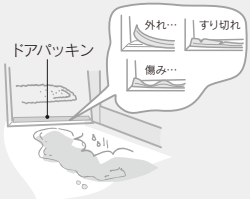
⚠ 注意

ドアのパッキンが切れたり外れたまま使わない

水漏れのおそれがあります。

パッキンに不具合を感じた場合

ドアのパッキンは定期的に交換が必要な消耗品です。ご使用中に切れたり、外れて元に戻せなかったりと、不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

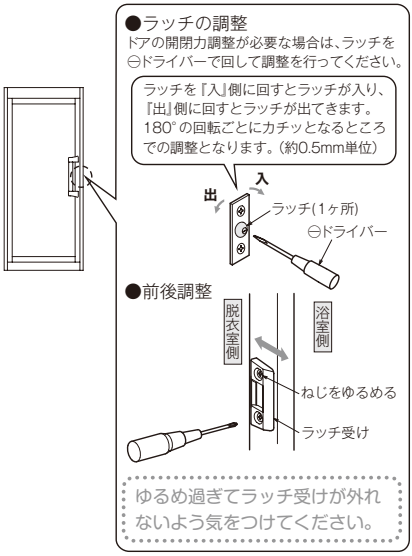


開閉具合の調整①

- 開き戸（ガラリなし）

  ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（ボール状の出っ張り）とドア枠のラッチ受けの位置を調整してください。

ラッチ調整の仕方



ドアに貼られているラベルも参照してください。

ドアのお手入れ ③

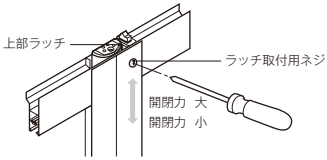
開閉具合の調整②

●折戸：ガラリあり

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、開閉が重いときは、ドアの上下ラッチとドア枠のレールがうまくかかっていないことが原因です。ラッチのかかりしろを調整してください。

ラッチ調整の仕方

ラッチ取り付けネジをゆるめて調整してください。



●折戸：ガラリなし

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、開閉が重いときは、ドアのラッチ（掛け金）とドア枠のレールがうまくかかっていないことが原因です。ラッチの調整ねじをゆるめてラッチと枠レールのかかり代を調整してください。

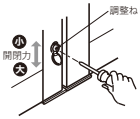
脱衣室側視

ラッチ

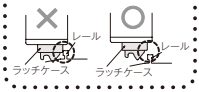
ラッチ調整の仕方

調整ねじにキャップが付いている場合はキャップをあけて調整を行ってください。

開閉が**重い**場合
⇒ねじ位置を**上部**へ
開閉が**軽い**場合
⇒ねじ位置を**下部**へ



開閉に支障が出る場合がありますので、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。



開閉重さ調整

① キャップを開ける
② 扉が動かないようハンドルを持ちながら
③ ドライバーでネジを左に1回転ゆるめる
④ ネジを上下に動かし、開閉重さを調整する
③④ ドライバーでネジを1回転しめる
調整後、キャップを閉める

キャップ
かるい
開
おもい

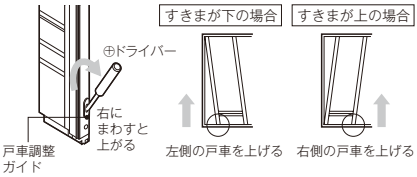
ガラリなしの場合、ドアに貼られているラベルも参照してください。

●２枚引戸（引手がある仕様）

ドアを閉じても上または下ですきまがあくとき

ドア枠とドアの建てつけがあっていないことが考えられます。ドアの下側に付いている戸車をドライバーで調整し、建てつけをあわせてください。

戸車調整の仕方



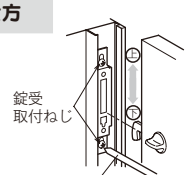
左にまわし過ぎるとねじが外れ、調整できなくなりますので気をつけてください。

錠がかかりにくい

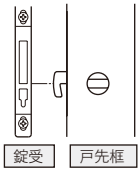
ドア枠についている錠受け部とドアの錠の位置がズレてかかりにくくなっている場合があります。錠受けプレートの取り付けねじをゆるめ、錠のかかりを調整してください。

錠受プレート調整の仕方

錠受のねじをゆるめ上下方向に調整を行ってください。



錠の首部下面が、錠受のリブ上面と同じ高さになるように錠受の位置を調整してください。



引手がない仕様は39ページをご覧ください

ドアのお手入れ ④

ドア枠

ドア枠は髪の毛やほこりのようなごみがたまりやすい部分です。
下枠カバーを外すタイプがありますので、各ドアにあったお手入れをしてください。
ごみや砂が付着した場合は都度取りのぞいてください。そのまま使用するとドア枠を傷めるおそれがあります。
ドア枠のお手入れにはゴム手袋を用意してください。

⚠注意

ごみや砂がかみ込んだ場合、取り除く
レール塗膜ハガレの原因になります。

●ドア枠(各タイプ)

月に1度

わりばしにティッシュなどを巻きつけたものを利用して、ドア枠の溝にたまった髪の毛やほこりなどのごみをかき出し取り除いてください。

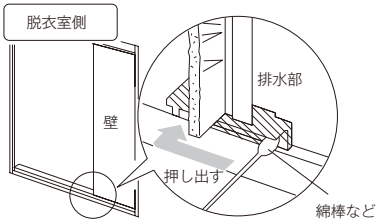
月に1度

● 上枠換気部にほこりがたまると機能低下の原因となります。換気弁を浴室側に開き、たまったごみを綿棒や棒にやわらかい布を巻き付けたものでふき取ってください。

●2枚引戸の排水部（引手がある仕様）

月に1度

レールの排水部がつまると脱衣室側への漏水の原因となりますので、扉と下枠カバー・レールを外して排水部に綿棒などを差し込み、汚れを浴室側に押し出して取り除いてください。

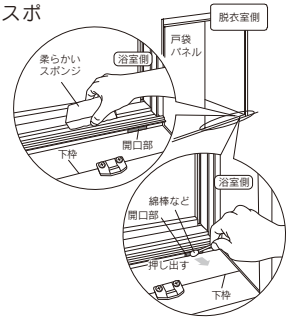


ドアの取り外し方は「ドアを開閉する」をご覧ください。

●2枚引戸の排水部（引手がない仕様）

月に1度

レールの排水部がつまると脱衣室側への漏水の原因となりますので、ドアと下枠カバー・レールを外して、やわらかいスポンジで汚れを拭き取ってください。また、下枠の切り欠き開口部に綿棒などを差し込み、汚れを押し出して取り除いてください。



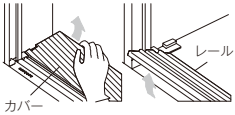
ドアの取り外し方は「ドアを開閉する」をご覧ください。

カバーとレールの外し方

脱衣室側

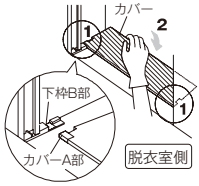
取り外し方

①扉を１枚ずつ外す。
②下枠のカバーとレールを外す。

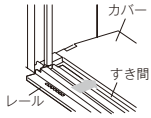


取り付け方

①カバーを持ちながら、左右のカバーA部を下枠のB部に合わせてからカチッと音がするまで確実に取り付ける。



②レールをカバーの隙間に差し込み取り付ける。



下枠カバーを外した状態で使用すると水漏れの原因になりますので必ず確実に取り付けてください。

引手がない仕様は39ページをご覧ください

照明のお手入れ ①

照明のお手入れについて

照明器具は電気機器ですので、安全のために正しい手順を守ってお手入れを行ってください。

⚠警告

照明器具や換気扇のお手入れは電源（スイッチ）を切ってから行う
感電やけがをするおそれがあります。

⚠注意

電球は必ず器具に表示してある種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する
異なる種類、ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となります。

照明器具には寿命があります

設置して 8～10 年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

カバー（グローブ）は、定期的に清掃する
グローブに埃などがたまると、グローブに熱がこもり、グローブの変質、変色、割れのおそれがあります。

照明器具のお掃除に洗剤は使用しない
変質、変色、変形のおそれがあります。

照明器具のお手入れには、安定した踏み台を使用する
転倒などによる転倒のおそれがあります。踏み台の下には敷物をするなどして、床を傷付けないようにしてください。

- LEDを使用した照明器具のLED素子には、ばらつきがあるため、同じ型式の商品でも光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDの平均的な寿命※は40,000時間です。
  ※LEDの一般的な寿命とは、初期の70%以下の明るさ、または不点灯の状態となる平均時間です。
- カバーを外せないダウンライトは、光源に器具一体型LEDを採用しています。お客様ご自身によるLEDの交換はできません。照明器具一式での交換となります。
- 点灯しなくなった等の不具合が生じた場合はお買い上げの販売店などに、修理、交換を依頼してください。

照明のお手入れ ②

壁付照明

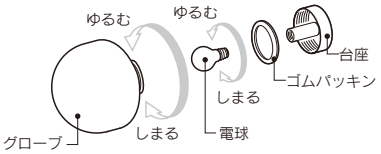
●カバー（グローブ）

半年に１度

電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからグローブをはずしてください。汚れはぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。
グローブの水気を取り除いたあと、照明の台座に取り付けてください。

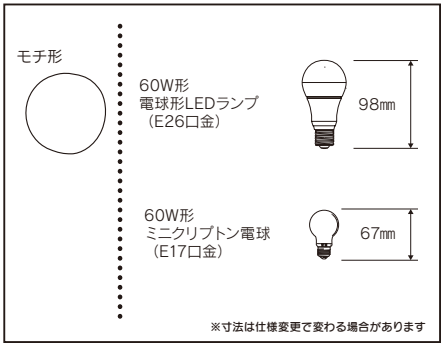
壁付照明のグローブと電球の外し方

取り外し方



取付の際は、ゴムパッキンを忘れずに入れてください。しめすぎ・ゆるめすぎのないよう気を付けてください。方向のあるグローブの場合は、水平になるように取り付けてください。

●電球の交換
壁付照明では以下の電球のいずれかが使用されています。電球の交換が必要になったときはそれぞれの照明で指定している電球に交換してください。



●電球形LEDの使用についての注意
①密閉形や防湿、防雨の器具に対応したもの。
②ワット数、口金サイズに適合しているもの。
③交換前の電球より極端に大きなものは避ける。
（めやすとして+10㎜以内）
④光は全方向型であること。（電球形LEDランプの場合）

●電球の種類や品番は照明本体に表示されています。
●指定された品番の電球を見つける事ができない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
●イラストと違う形状の壁付き照明が取り付いている場合がありますが、その際も電球は照明本体の表示に適合するものをお使いください。

ダウンライト

ダウンライトはカバーを外せないタイプで、LEDを光源としていますが、ランプは内蔵で交換が必要になった場合は本体ごと入れ替えるタイプです。一般的な白熱球とは違う特性がありますので、以下の内容をご理解の上でお手入れをお願いします。掃除は外側のカバーだけになります。

●カバー

半年に１度

電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからカバーに付いたホコリや汚れをぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。手が届かないときはペーパーモップに布をセットしてふきましょう。

専用取扱説明書の確認

ダウンライトは専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

器具類のお手入れ

収納棚

毎　日

ボトルの液だれや小物の水分などを、棚と小物の両方ともふき取ってください。

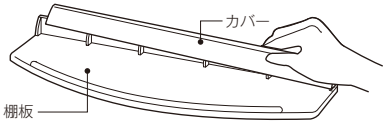
週に1度

収納している小物を取り出し、棚板を取り外して、浴室用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで棚板を洗ってください。その後は洗剤が残らないよう洗い流して、棚板を取り付けてください。

フロントシェルフの棚板は外せません。

年に1度

フロントシェルフはカバーが外せるようになっています。年に1度は外して、棚板の取り付け部も棚板と同じように洗ってください。



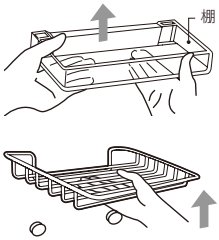
お願い

- クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう洗い流して置いてください。また棚の表面に液体が付いたときは、洗い流して残らないようにしてください。
  液に含まれる成分が、棚を傷めるおそれがあります。

棚板の外し方

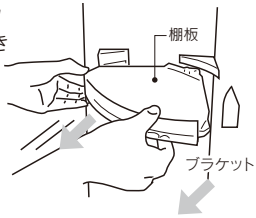
- ワイドシェルフ
- ワイヤーラック
  （浅型、深型、平型）

棚を真上に持ち上げて外してください。



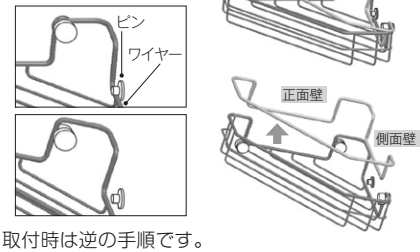
- コーナーシェルフ

棚板を手前に引きだしてください。



- ワイヤーラック
  （コーナー型）

棚の端を斜め上に持ち上げ、ピンの下にもぐっているワイヤーをずらしてから、棚全体を真上に持ち上げて外してください。



取付時は逆の手順です。

※はまりにくい場合は、側面壁に押し付けながらラックを下ろしてください。

※鏡に手が当たらないようお気をつけください。

MEMO

点検とメンテナンス

一般的な浴室ユニットの点検とメンテナンスを記載しています。

定期的なお手入れ、点検、部品の交換をしていただくことで、より長く、安心、快適に商品をご使用いただけます。
※✔印の部品には、コーキング部、目地、パッキン類があります。

お手入れ

定期点検　年に1回は「お客様ご自身」で点検を

換気扇

- □ **カバーのガタツキ・垂れ下がり**
  （落下によるけがのおそれ）
- □ **焦げ臭い・異音**
  （モーターの焼き付きによる作動不良）

※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。

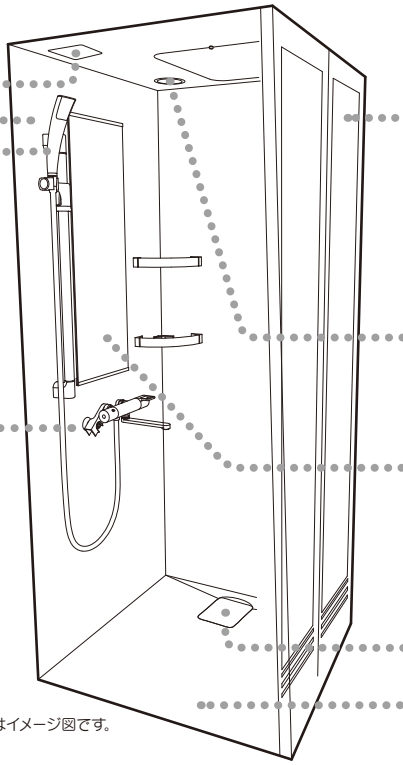
天井・壁 ✔

- □ **つなぎ部分の目地材の外れ・切れ**
  （浴室外への蒸気や水漏れによる家財への影響）

水栓・シャワー

- □ **水漏れ**
  （浴室外への水漏れによる家財への影響）
- □ **温度調節不良**
  （高温の湯によるやけどのおそれ）
- □ **メッキはがれ**
  （鋭利な小口によるけがのおそれ）

※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。



※イラストはイメージ図です。

維持・管理の目安に　メンテナンススケジュール

定期的な部品交換や調整	5年
コーキング部・目地・パッキン類 ※対象部品：上記✔印	交換 ●ご使用の環境により5年以内であっても切れが生じる場合 切れた状態でご使用を継続すると、水漏れの原因になりま
換気器具	フィルター※1、その他の部品交換
水栓・シャワー	シャワーホース※1、その他の部品交換
照明器具	電球交換※2
ドア	動きの調整※1、部品・部材・レールの異常、損耗確認

このスケジュールは、部品交換や調整、本体交換時期のおおよその目安としてご活用ください。
なお、製品に不具合が生じた場合は、早めに対応してください。
※1 この項目は、お客様ご自身で交換、調整が可能です。部品のご購入は取扱説明書裏面表紙の相談窓口へご連絡ください。※2 電球型照明のみ、

不具合(下記のような事象)があったときは
取扱説明書裏面表記の相談窓口へご連絡ください。

ドア ✔

- □ **ハンドル・引手のガタツキ、ロックの動き不良**
  (開閉不能による浴室内への閉じ込めのおそれ)
- □ **回転軸部品のガタツキ・ひび割れ・外れ**
  (開閉不能による浴室内への閉じ込め、ドアの外れによるけがのおそれ)
- □ **パッキンの傷み・切れ・外れ**
  (脱衣室側への漫水による床材劣化)
- □ **面材の割れ・外れ**
  (けがのおそれ/脱衣室側への水漏れによる家財への影響)
- □ **ドア開閉時のかたさ・おもさ**
  (開閉不能による浴室内への閉じ込め、ドアの外れによるけがのおそれ)

照明器具

- □ **カバーがない**
- □ **カバーのひび割れ、ガタツキ、ソケット部の焦げ**
  (けがのおそれ/火災の原因)

鏡

- □ **ひび割れ・取付金具のガタツキ**
  (割れ・落下によるけがのおそれ)

排水トラップ ✔

- □ **ゆるみ・ひび割れ・ガタツキ**
  (浴室外への水漏れの原因)
- □ **パッキンの切れ・はがれ**
  (悪臭の原因)

その他器具

- □ **ガタツキ・割れ**
  (けがのおそれ)

床 ✔

- □ **コーキング部の切れ・はがれ**
  (浴室外への水漏れによる家財への影響)
- □ **つなぎ部分の目地材の外れ・切れ**
  (浴室外への水漏れによる家財への影響)
- □ **洗い場のひび割れ**
  (けがのおそれ/浴室外への水漏れによる家財への影響)

お手入れ

	10年	15~20年
	交換	交換
があります。 すので、状況に応じて交換する必要があります。		
	本体交換	フィルター※1、その他の部品交換
	部品交換または、水栓金具本体交換	シャワーホース※1、その他の部品交換
	電球交換※2、本体交換	電球交換※2
	部品交換または、障子交換、部品・部材・レールの補修等	動きの調整※1、部品・部材・レールの異常、損耗確認

バスルームのお取り換えをご検討

お客様ご自身で交換が可能です。

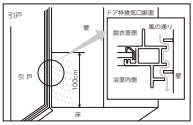
「あれ？」と思ったら ①

商品に異常を感じたときは、次の点をお調べください。
また、水栓、換気扇など、専用の取扱説明書がある機器はそちらもあわせてお調べください。

現　象	原　因	処　置
●温度調節がうまくできない。	湯側、水側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節してください。 チェック! 水栓の取扱説明書
	給湯器から十分なお湯がきていますか。	給湯器の設定温度（50℃以上）を確認してください。 チェック! 給湯器の取扱説明書
	吐水口キャップ、ストレーナーやシャワーヘッド散水板の目づまりはありませんか。	吐水口、ストレーナーやシャワーヘッド散水板のお掃除をしてください。 チェック! 25～26ページ、または水栓の取扱説明書
●水栓金具のハンドルをまわすと、カンまたはブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくりまわしてください。 チェック! 6ページ
●水栓の取り付け部から水が漏れる。	取り付け部に入っているパッキンが劣化していることがあります。	パッキンの交換が必要です。 お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック! 40ページ
●天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇をまわしたり、窓をあけるなどして、シャワールーム内を乾燥させてください。
●入浴中寒く感じる。	換気扇を運転しながら入浴していませんか？	入浴中は換気扇の運転を止めてください。 チェック! 17ページ
●換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇（グリル部）に当たり、水滴となって落下します。異常ではありません。	入浴中は換気扇の運転を止めてください。
●照明が点灯しない。	電球切れではありませんか。	電源（スイッチ）を切って、照明に指示してある新品の電球に交換してください。 電球を交換できないタイプは照明本体の交換となります。 チェック! 32ページ
●鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびり付いたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
●シリコン、目地にかびが生える。	シャワールームの換気と手入れは十分ですか。 かび	入浴後は換気扇をまわしたり、窓をあけるなどして、シャワールーム内を乾燥させてください。 チェック! 17ページ

「あれ？」と思ったら ②

現　象	原　因	処　置
●２枚引戸のドアを閉じても上または下ですきまが開く	ドア枠とドアの建てつけがあっていないためです。	ドアの下側に付いている戸車をドライバーで調整し、建てつけをあわせてください。また、下枠のレールの状態もご確認ください。チェック! 29ページ
●２枚引戸の錠がかかりにくい	ドア枠についている錠受け部とドアの錠の位置がズレてかかりにくくなっている場合があります。	錠受けプレートの取り付けねじをゆるめ、錠のかかりを調整してください。チェック! 29ページ
●脱衣室側から引戸のレールに水が流れるのが見える。	引戸は浴室の外にレールがあるため、浴室内からレール上にシャワーをかけると、水が流れて見えることがあります。	異常ではありません。そのままご使用ください。
●開き戸のドアが自然に開く。または、ドアが閉まりにくい。	ドアのラッチ（掛け金）がドア枠のラッチ受に正しい位置に納まっていない場合があります。	ラッチが正しい位置に納まるようラッチ受の位置を調整してください。チェック! 28ページ
●開き戸のドアが自然に閉まる。	開き戸にはせり上がり機構が付いているタイプがあります。そのタイプは、ドアの開きが小さいと自然に閉まることがあります。	異常ではありません。そのままご使用ください。
●折戸のドアが自然に開く。または、開閉が重い。	ドア下にあるラッチ（ボール状の出っ張り）がドア枠のレールにうまく引っ掛かっていない場合があります。	ラッチがレールにうまく引っ掛かるようラッチを調整してください。チェック! 29ページ
	ラッチの調整具合とは別の要因があります。	お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。チェック! 40ページ
●開閉時に音がする。	水密性を保つためのパッキンと障子の擦れ音がする場合があります。	異常ではありません。そのままご使用ください。
●開閉時に風切り音がする。	気密性が高いので、換気設備の性能によっては、風切り音が発生する場合があります。	異常ではありません。ドアをゆっくり開閉してください。
●2枚引戸から風が流れてくる。（引手がない仕様の場合）	ドアの戸先にあたるドア枠には、浴室内の換気を促すために、換気口が設けられており、脱衣室から浴室内に風が入ってくるためです。	異常ではありません。ドアの換気口は構造上必要なものです。



お願い　●換気扇を運転させたまま浴室をご使用されますと、ドア枠換気口から脱衣室の空気が強く感じることがあります。入浴される時は、換気扇を一時停止することで、換気風を弱くすることができます。

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときは“「あれ?」と思ったら„を見てもう一度確認してください。
  それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 電化製品及び水栓は、それぞれの製造元によるサービスで対応いたします。

ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書（別紙）が付いています。
  記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。
- 保証期間を過ぎている場合、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用性能部品の保有期間を経過していた場合は、修理できない場合があります。
  ※修理料金：部品代＋技術料＋出張料

シャワールーム廃棄についてのお願い

- このシャワールームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。

シャワールームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。
  【1】商品の「メーカー型式」
  【2】不具合の状態（できるだけ詳しく）
  【3】住所・氏名・電話番号

商品の「メーカー型式」はドア上側に貼り付けられています。

器具の追加や変更について

- 器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お求めの販売店または、別添のサービス網一覧表の窓口まで相談ください。

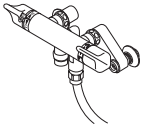
有償点検のおすすめ

- 長く快適に使っていただくため、ご使用に不具合がなくても、有償ですが点検を受けていただくことをおすすめします。（お使い始めてから 2 年以降）
  また、以下の場合も有償の点検をおすすめします。
  ・温泉地域や海岸付近など特に腐食がおきやすい地域でご使用されている場合。
  ・別荘地・転勤などで、長期間ご使用されない場合。
- 点検については、お買い上げの販売店または別紙に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 点検料金は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）となります。

こんな部品は定期的に交換です。

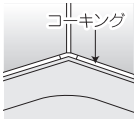
ご使用中に不具合を感じたときは、お買上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口までご相談ください。

- 水栓本体



- シャワーホース・ヘッド

- 目地・コーキング

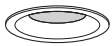


- パッキン類

- 照明器具の電球

- 照明器具

ダウンライト



照明器具の電球はお客様で交換をお願いします。

交換の目安は、パッキンや目地材など消耗部品でご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など器具部品で5～10年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

お客様ご相談窓口のご案内

窓口　全般

- 商品のお問い合わせ・修理のご依頼は、電話混雑時には繋がりにくいため、弊社ホームページ www.housetec.co.jp お客様サポートの「よくあるご質問」「商品のお問い合わせ」「修理のご依頼」のweb画面からのご利用をおすすめいたします。
- 補修部品のご購入は弊社ホームページでご案内のショップをご利用下さい。メールでのお問い合わせも受付しております。

お電話でのお問い合わせは下記にて承っています。

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）

個人のお客様
0120-801-761
※携帯電話の場合 0570-001-761（有料）
販売・施工など業者様
0570-071-761（有料）
●受付時間　9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様
0120-102-471
※携帯電話の場合 0570-002-471（有料）
販売・施工など業者様
0570-022-471（有料）
●受付時間　365日　24時間
（修理訪問は日中、地域により休日あり）

補修部品のご購入は（代引き販売窓口）

個人のお客様
0120-455-621
※携帯電話の場合 0570-002-621（有料）
販売・施工など業者様
0570-022-350（有料）
●受付時間　9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック
群馬県高崎市栄町1-1　ヤマダホールディングス本社11階内　〒370-0841　Tel. 027-395-0410
www.housetec.co.jp

2W00004484　2024.6